



# 学校経営計画

校長 西村 みゆき

本校は、児童・生徒一人一人の人権を尊重するとともに、児童・生徒一人一人の障害の状況、実態に合わせた教育を推進することで、個性を尊重し、豊かな人間性や社会性を育み、自立と社会参加に向けた児童・生徒の力を育成することを教育目標としている。

目標実現のために、開校以来、取り組み、築き上げてきた知的障害教育の指導法・指導内容等を継承するとともに、常に最新の情報や知見を取り入れ、児童・生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばせる教育を進める。

## 【校 訓】

- すこやかに…気持ちの安定を図りながら、すこやかに、そして、丈夫な体をつくる。
- おおらかに…仲間の気持ちや活動を認め、おおらかな気持ちをもちながら、豊かな感性と自分を表現する力を育てる。
- たくましく…一人一人が自己肯定感をもって、主体的に活動し、たくましく生きる力を育み、確かな社会性を身に付ける。

## 【学校教育目標】

- 基本的な生活習慣を養い、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。
- 豊かな感性と自分を表現する力を育てる。
- 学ぶ意欲や働く意欲・態度を育み、主体的に生活する力を育てる。
- 自分の仲間を大切にし、ともに活動する力を育てる。

## I 目指す学校像

「人権尊重」を学校運営を進める際の基礎・基本とし、一人一人の児童・生徒、保護者、教職員を大切にし、健康で安全な教育活動ができる学校づくりを進める。また、家庭、地域との連携を大切にし、保護者はもちろんのこと、地域社会から信頼、期待される学校となるよう全教職員が一丸となり業務を遂行する。

- 人権を尊重し、一人一人を大切にする学校
- 日々の授業を大切にし、健康で安全な教育活動を組織的に推進する学校
- 家庭、地域との連携を深め、保護者、関係機関、地域社会から信頼される学校

## II 中期目標と重点方策

本校は、保護者、関係機関、地域社会からの理解・協力を得ながら、知的障害特別支援学校として、特別支援教育の基本となる内容の整備、教育活動の推進に取り組んでいる。特別支援教育のセンター校としての本校の現状を大切にしながら、今後を見据えた知的障害特別支援学校のあるべき姿を想定して、7点の中期目標とそれぞれの重点方策を定める。

### 1 人権を尊重した指導の徹底

人権尊重を基本的重点項目として、児童・生徒一人一人を大切にする教育を推進し、いじめ防止の徹底と体罰、性暴力、不適切な指導の根絶を図る。

#### <重点方策>

- ① 学校いじめ対策委員会を週に1回開催し、組織による迅速な対応を行い、発生を未然に防止する。
- ② 児童・生徒向けアンケート、教職員向けアンケートを定期的実施し、上記の防止や根絶につなげる。
- ③ 教職員が研修等により人権感覚を磨き、児童・生徒の人権を尊重した呼称の仕方や接し方等を徹底する。
- ④ 保護者会での話、学校だより、生活指導部だより等により、取組の様子を分かりやすく発信していく。

### 2 自立と社会参加に向けた力の育成

基本的な生活習慣を養い、豊かな人間性や社会性、自分を表現する力、人間関係を形成する力を育む指導を行い、基礎的な主権者教育を推進し、児童・生徒一人一人の自立と社会参加のための力を育成する。

### ＜重点方策＞

- ① 児童・生徒の身近自立を目指して、日常生活の指導等を丁寧に積み重ね、自分でできることを増やしていく。
- ② キャリア教育を推進し、小学部からの係活動や中学部での「職業・家庭」の授業等を充実させる。
- ③ 社会参加の一環として、電車の乗車、商店での買い物、外食等の体験学習に積極的に取り組んでいく。
- ④ 言語活動を通して自己表現力を伸ばすとともに、主権者に必要な自己選択・自己決定の力を育む。

## 3 専門性に基づく個に応じた指導

教員が知的障害教育の専門性を高めながら、児童・生徒の詳細な実態把握に努め、一人一人の発達段階や障害特性等を考慮した指導を推進する。

### ＜重点方策＞

- ① アセスメント等を生かして児童・生徒の実態を詳しく把握し、一人一人の力を着実に伸ばす指導を行う。
- ② 大学や療育機関の専門家、外部専門員等を講師とする校内研修を充実させ、教員の専門性を高めていく。
- ③ 若手教員等の校内での年次研修を計画的に実施し、全職層で協力・分担して組織的に人材育成を進めていく。
- ④ 東京都教職員研修センターが主催する専門性向上研修等、校外で教員が学べる有益な機会を活用していく。

## 4 安全・安心と健康を目指す取組の推進

児童・生徒のけがや事故の発生防止に努め、感染症への対策を適切に行うとともに、防災教育の充実を図り、医療的ケアの安全実施を推進する。

### ＜重点方策＞

- ① 危険の予測によりけがや事故を未然に防止し、感染症対策ではマチコミで迅速な情報共有と注意喚起を行う。
- ② 首都直下地震に備えた防災訓練、不審者対応訓練、セーフティ教室等を関係機関と連携して充実させる。
- ③ 医療的ケア安全委員会、緊急時対応訓練等で関係職員がチームとして共通理解を深め、安全実施を推進する。
- ④ スクールカウンセラーの活用を促進し、児童・生徒、保護者の心理面のケアを行い、学級経営等に生かす。

## 5 これからの社会に対応できる力の育成

多様化、デジタル化するこれからの社会に対応できるように、児童・生徒がデジタル技術を有効に、かつ正しく活用する力を身に付けるとともに、余暇活動を楽しむことができるように育成していく。

### ＜重点方策＞

- ① 1人1台G I G A端末の更なる活用を図るとともに、保護者への情報発信の仕方を工夫していく。
- ② 情報モラル、ネット犯罪等について「職業・家庭」の授業等で触れ、デジタル社会に対応する力を育む。
- ③ 将来の余暇活動を見据え、小・中学部の段階で障害者スポーツ、芸術活動等を幅広く体験できるようにする。
- ④ 教職員自らが生成A I等の活用を進め、教育活動に生かし、時短や働き方改革の推進にもつなげていく。

## 6 地域支援・連携・協働・理解啓発の推進

特別支援教育のセンター校として、地域の区教育委員会や小・中学校等への支援に力を注ぐとともに、関係諸機関との連携・協働を強化し、理解啓発を推進していく。

### ＜重点方策＞

- ① 支援部教員が研修講師を務め出前授業を行うなどして区教育委員会、小・中学校等への支援を充実させる。
- ② 関係者が来校する学校公開、理解推進研修会等の機会を生かし、地域のニーズに応え、理解啓発を推進する。
- ③ 地域の小・中学校と連携して学校間交流、副籍交流等を充実させ、双方の児童・生徒の成長につなげる。
- ④ 学校運営連絡協議会等で地域の関係諸機関とのつながりを強化し、外部からの助言・支援を生かしていく。

## 7 新たに編成した教育課程の実施と学習活動の充実

働き方改革を推進する文部科学省及び都教育委員会からの指導を踏まえ、授業時数を国が定めた標準に近づけて新たに編成した教育課程を実施するとともに、児童・生徒の学習活動を充実させていく。

### ＜重点方策＞

- ① 教育課程検討委員会を定期的開催し、新しい教育課程による指導の成果を組織的に検証していく。

- ② 毎日同じ時間に同じ学習をする帯の時間割や3コマ続きの授業等を設定した新しい週時程を運用していく。
- ③ 教科書の側面から学習活動の充実を図り、文部科学省が発行する分かりやすい教科書の使用を促進していく。
- ④ 児童・生徒の興味を喚起して指導の効果を高めるために、地域の新複合施設等の資源を有効に活用していく。

### Ⅲ 今年度の取組目標と具体的方策

#### (1) 学校運営

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	服務事故防止研修を計画的に実施し、体罰、性暴力、不適切な指導、ハラスメント等を根絶する。	各学期1回以上の研修 事故件数：0件
②	児童・生徒の「～さん」付けでの呼称等を基本とした人権の尊重と適切な指導の徹底	通年、全学年の教員 不適切な指導：0件
③	デジタルを活用した教材のデータ化、業務の効率化、ペーパーレス化及びライフ・ワーク・バランスの推進	通年、各会議のペーパーレス化 残業月45h超え：延べ70人
④	一人一人の教職員の業務分担と責任を明確にし、主幹教諭を中心とした業務の進行管理の徹底	通年、進捗管理：主幹から報告 課題と解決策の共有
⑤	経営企画室と各校務分掌、学部・学年の連携による課題の明確化と効果的かつ効率的な学校運営の推進	通年、企画調整会議、職員連絡会、職員朝会
⑥	教職員一人一人の校内外の研修の積極的な受講による特別支援教育の専門性や業務遂行に係る課題解決力の向上	通年 1人1回以上の研修
⑦	OJT、若手教員育成研修の充実、大学からの教育実習、介護等体験、学生ボランティアの受入れ等により、特別支援教育を担う人材を組織的に育成	通年 校内初任者研修：11回/年
⑧	特別支援教育のセンター校としての地域・関係機関への理解啓発と支援活動の拡充	学校公開(2回合計)：100人 理解推進研修会：100人
⑨	予算の効率的な執行による学習環境の整備、教育内容の充実、一般需用費のセンター執行率の向上	センター執行率：70%

#### (2) 学習指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	児童・生徒の各種アセスメント結果を授業づくりに反映させるとともに、保護者面談等を通して情報を共有	年2回以上
②	外部専門員の活用と連携を通して、課題の設定、指導内容、指導方法の改善・充実を進める	通年、外部専門員の活用 累計900時間以上/年
③	すこやかで丈夫な体をつくり、豊かな感性を育むために、障害者スポーツ、日本の伝統文化、芸術教育の指導を進める	タッチラグビー教室、笑顔と学び、音楽鑑賞会等
④	基礎体力の向上、運動習慣の定着、体幹機能の向上・安定に向けた運動活動の改善・充実	通年、体育の授業等 体育発表会
⑤	GIGAスクール端末を児童・生徒が活用する授業の推進、家庭での活用促進、保護者への取組状況の発信の工夫	通年、学校だより、個別面談等での発信
⑥	「子供たちの今を見つめる実態把握と将来を見据えた目標設定を考える～行動問題の背景に潜む児童・生徒の課題とは～」〔自立活動についての研究〕 講師：下山 直人 先生(上野学園大学 短期大学部 音楽科 非常勤講師)	校内研究会 年6回
⑦	教材・教具の開発・作成、共有促進のためのTeams内フォルダ等へ教材の蓄積	各教科：20件以上

#### (3) 生活指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	いじめ防止、体罰・性暴力・不適切な指導の根絶のための会議、アンケート等の実施(いじめ総合対策【第3次】を踏まえたいじめ予防・早期対応の取組を含む)	通年、随時 学校いじめ対策委員会：1回/週 いじめアンケート：3回/年
②	事故0のための校内の安全点検、整理整頓、感染症対策としての消毒等の徹底	通年、随時

③	迅速なヒヤリハット報告、事例の共有による危機管理意識の向上と改善策の確立	通年、随時
④	スクールバス運行会社、ドライバー、添乗員との緊密な連携、十分な情報共有による安全な運行	連絡会：週初日の登校時 研修会：年3回以上
⑤	自立と社会参加に向けた基本的な生活習慣、日常生活動作（ADL）の確立、身近自立のための指導の徹底と家庭との連携	通年、日常生活の指導、 中学部「職業・家庭」等 連絡帳、個別面談等
⑥	公共施設や公共交通機関等の利用を通して、社会のルール・マナーの計画的指導	各学年：年1回以上
⑦	防災対策として品川消防署、品川警察署等の地域関係機関と連携した防災教育、防犯・安全教育（不審者対応訓練、交通安全教室、セーフティ教室）を推進する	避難訓練：年11回 総合防災訓練：年1回 防犯・安全教育：年3回
⑧	品川区と連携した福祉避難所開設訓練の実施	年1回（R8：冬季）
⑨	学校医、医療関係者、保護者との連携による児童・生徒の心身の健康教育・摂食指導・保健指導の充実（心肺蘇生法研修、アレルギー対応研修）	通年、研修会は全員参加

#### (4) 進路指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	キャリア教育の視点に立った系統的教育活動の推進、係活動等の充実、就労に関する理解の深化（中学部「職業・家庭」、就労先見学、就業体験等の実施）	通年、各学年・学級 小5～中2体験等：1回/年
②	一人通学の指導を児童・生徒個々の状況に応じて、家庭と連携して推進	通年
③	教員と保護者を対象とした講演会、事業所見学会等の実施	1回/年
④	進学先を見通した中学部3年生保護者の高等部説明会への参加促進、教員の進路先説明会への参加	港特支・青鳥特支・田園調布特支等：各1回以上

#### (5) 特別活動・その他

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	言語活動、発表活動による自己表現力、コミュニケーション能力等の育成、読書活動、読み聞かせ等による豊かな感性の涵養	通年、各学年・学級 学習発表会
②	図書室の環境整備、新規図書購入や寄贈等による蔵書の充実、図書ボランティア（PTA）との連携・協力	100冊以上/年
③	児童・生徒の集団意識を養い成長を促す学級経営、学級活動の内容整理と工夫	通年、随時
④	日々の指導の集大成としての全校行事や学年行事等のねらい、内容等の精査	通年、各学年
⑤	医療的ケアについての全校的な理解を深めるためのパンフレットの配布	年1回（年度初め）
⑥	医療的ケアを要する児童・生徒の適切で安全な管理を徹底するための医療的ケア安全委員会、緊急時対応訓練の定期的な実施	委員会：6回以上/年 訓練：1回/学期
⑦	学校間交流、副籍交流に関する担当者、担任による打合せ等の実施	1回以上/年
⑧	社会貢献活動等、地域や社会と関わりをもつ取組を学部・学年等の単位で推進	各学年1回以上/年
⑨	特別支援教育コーディネーター等による地域の小・中学校への巡回相談、電話相談等の実施	80件以上/年
⑩	品川区教育委員会主催の研修会への講師派遣及び小・中学校での出前授業の実施	各3回以上/年
⑪	特別支援教育推進室、通学区域の区教育委員会、就学前施設等との連絡、打合せ等による適切で円滑な就学相談、転入・転出相談の実施	通年
⑫	支援会議による地域の関係機関（子ども家庭支援センター、児童相談所、警察署、福祉課等）と連携・協力した児童・生徒の家庭生活・地域生活の安定化	5回以上/年
⑬	マチコミ等を活用した迅速な情報共有、ホームページを使った学校の魅力、教員公募案内等の発信、全校保護者会等のオンライン・オンデマンド配信の充実	マチコミ等：随時 HP更新：100回以上/年